

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	総合療育センターあじさい愛宕
------	----------------

公表日 2026年 2月 16日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	プレイルームなど仕切りを使って遊びと学習の空間を分けている。人数が多い時には分散している。(室内と戸外)	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		視覚的支援、低学年と高学年での部屋の分散。幼児・車いすトイレあり。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		子どもたちの人数に合わせて物の配置・空間を工夫している。朝と夕方に毎日清掃をしている。暖房をつける季節になると加湿器があると、もう少し快適に過ごせるのではないかと？	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		クールダウンや集中したい時、1人になりたい時など、1人の空間を提供している。面談室など。デーションのある机を設置している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		終礼が毎日行われている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		研修や会議などをおこなった職員の話が把握できる機会がある。年に一度、評価をいただき改善に繋げている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ミーティングを毎週木曜日おこなっている。礼や会議などで意見を出す場があり、業務改善に繋げている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		さまざまな研修を受講させていただける	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		毎日、ハグにて公開している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		終礼や会議を通して、1人の現状把握と次の目標など話し合いをおこなっている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		HUGで公開していただいている。計画に沿ったとなると課題が残る。当日の朝、計画書を全体に共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		各関係機関、保護者様とラインやTEL、面談などでよくコミュニケーションがとれていると思う	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	専門職も含め様々な視点から活動を検討し立案している。職員間のコミュニケーションがとれている。職員と管理者がある程度行って周知している	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	2	毎月、活動内容を考えている（児童の特性に合わせて療育をしている） 公園外出が近場の公園になってしまうので、改善が必要 担当が決まっていないのが良いと思う	担
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	リーダーが個別に共有してくれる時もあればそうではなく書面を見て共有の職員もいる	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		話し合い後に終礼にて全員に共有している（休みなどの職員がいる際は、ラインのノートを使用し連絡）	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日、個別記録を記入している 終礼で毎日記録を残し、次回の支援に繋げている 分担をしている（努力している）	終 役割
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングをしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		活動に選択活動を取り入れることによって利用児が自分で決められる機会を設けている。 自由 遊びの時間は子どもたちが好きな遊びを選択できるようにしている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学期ごとに情報交換・日々の連絡をおこなっている 緊張感を持って対応している	緊 張感
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		情報交換の場を設けている（毎年、春に設けている）	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	今のところ事業所から移行の方がない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	公園でたまに一緒になる事があるが、交流日などは設定していない 同じ空間にいる事はある（時折、一緒に遊ぶ）	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	参加したことがない（機会があれば参加したい）	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		ラインが役に立っている 定期的に面談をしている	定期 的	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	定期的な面談で自宅での困り感などを聞き出し、その都度関わり方のアドバイスをしている。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		定期的な面談で伝えている		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		定期的な面談で伝えている		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		定期的な面談で伝えている		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	保護者に助言が与えるレベルではないなど日ごろからの電話対応をしている	面談
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		年間行事を通して保護者や兄弟児との交流を図っているところ 定期的にイベントをしているところ	定期的
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		日々の活動や行事など配慮している（HUGやブログでの発信）	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	玄関に提示や訓練がある	研修
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	研修や訓練がある	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	職員間で共有しているがわからないところがある今後改善や面談時に行って共有している	契約
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	契約の際に必ず保護者に確認し、職員に共有している ペンなどおいていないのでと良いのかと考える	エビ
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		終礼や職員会議が話し合いの場になり、ラインが保護者周知に役に立っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		終礼や職員会議が話し合いの場になり、ラインが保護者周知に役に立っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		終礼や職員会議が話し合いの場になり、ラインが保護者周知に役に立っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		終礼や職員会議が話し合いの場になり、ラインが保護者周知に役に立っている		